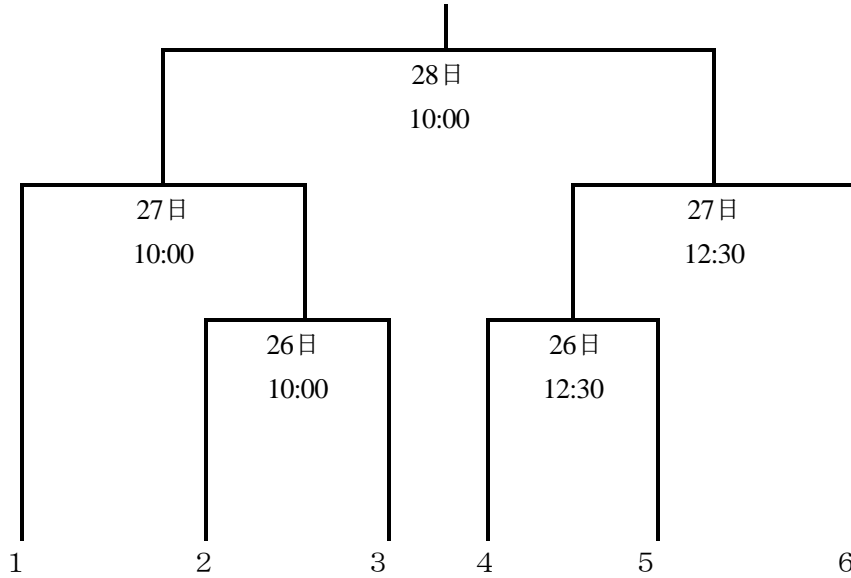


第21回北信越地区高等学校軟式野球大会（平成30年度春季） 開催要項

- 1 名 称 第21回北信越地区高等学校軟式野球大会（平成30年度春季）
- 2 期 日 平成30年5月26日（土）、27日（日）、28日（月） 3日間
※雨天順延 予備日 5月29日（火）
- 3 会 場 上越市高田公園野球場（上越市本城町46-1）（TEL 025-524-6119）
- 4 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
- 5 主 管 新潟県高等学校野球連盟
- 6 後 援 新潟県、新潟県教育委員会、上越市、上越市教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社
- 7 参加選手資格 日本高等学校野球連盟の制定する平成30年度大会参加者資格規定による。ただし、平成30年度に硬式野球選手として登録された者ならびに母校を背景としたクラブチーム以外の野球チームに登録または所属した者は出場することはできない。各県高等学校野球連盟軟式部に加盟した学校に限る。
- 8 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認のM号球（ケンコー）を使用する。
- 9 参 加 校 長野県2校、富山県1校、福井県1校、新潟県2校、計6校
- 10 入 場 料 無 料
- 11 参加申し込み 5月17日（木）午後3時までに所定の選手資格証明書を提出すること。
（郵送・FAX共に可。FAXの場合は原本を公式練習の際に提出する。）
提出先 〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊298-1
県立津南中等教育学校 小山 尚之 宛
TEL.025-765-2315 FAX.025-765-3690
- 12 組み合わせ抽選 5月22日（火）午後4時、新潟県高等学校野球連盟事務局において公正に代理抽選を行う。なお、抽選は次の原則に従う。
① 同一県チームは、決勝戦まで合わせない。
② 平成29年度秋季北信越大会の決勝進出県は1回戦不戦勝（シード）とする。
③ 第2代表校は1回戦からの出場とし、第2代表校同士は1回戦で対戦しない。
- 13 大会本部 上越市高田公園野球場（上越市本城町46-1）（TEL 025-524-6119）
- 14 開・閉会式 5月26日（土）午前9時より開会式を、5月28日（月）決勝戦終了後閉会式を、それぞれ上越市高田公園野球場で行う。
- | 開会式 | 閉会式 |
|------------|--------------------|
| ① 役員整列 | ① 役員整列 |
| ② 選手入場 | ② 選手入場 |
| ③ 国旗・連盟旗掲揚 | ③ 表彰 |
| ④ 優勝旗返還 | ④ 閉会の挨拶 |
| ⑤ 開会の挨拶 | ⑤ 国旗・連盟旗降納 |
| ⑥ 選手宣誓 | ⑥ 優勝校・準優勝校ダイヤモンド一周 |
| ⑦ 一同退場 | ⑦ 一同退場 |
- 開会式には、各チームとも午前8時45分までに全員ユニフォームを着用して、上越市高田公園野球場の所定の場所（後日指示する）に集合すること。
シューズについては別途指示をする。なお、選手宣誓は新潟県1位校とする。

1.5 組み合わせ

※番号の若い方が1塁側



1.6 審判委員 新潟県高等学校野球連盟審判委員

1.7 経費 出場チームの旅費・宿泊費は全額各チーム負担とする。
 宿泊費は1泊2食で**8,640円(税込)**とする。

1.8 大会前日(5月25日)の公式練習会場割り当て

練習時間	学校
10:00~11:00	新潟県代表
11:00~12:00	新潟県代表
12:00~13:00	富山県代表
13:00~14:00	長野県代表
14:00~15:00	長野県代表
15:00~16:00	福井県代表

※5月23日(水)午前10時までに各県事務局並びに出場校に「組み合わせ」「前日練習割」をFAXにて連絡いたします。

1.9 宿舎

	宿舎名	住所	電話	FAX
長野県代表	ホテルセンチュリーイカヤ	上越市中央1-2-7	(025)545-3111	(025)545-3122
長野県代表	ホテルルートイン上越	上越市塩屋新田字下之曲り157-1	(025)531-3233	(025)531-3223
富山県代表	ホテルセンチュリーイカヤ	上越市中央1-2-7	(025)545-3111	(025)545-3122
福井県代表	ホテルルートイン上越	上越市塩屋新田字下之曲り157-1	(025)531-3233	(025)531-3223

※宿泊の申込みは別紙の「宿泊・弁当要項」に従ってください。

20 試合中の紛争処理

試合中に紛争が生じた場合は、その試合を担当する審判員が責任をもって処理する。

21 試合に関する諸規定

- (1) 試合規定は、2018年度公認野球規則ならびに日本高等学校野球連盟が定めた特別規則による。
- (2) シートノックは原則として7分間とする。ただし、試合の進行等が遅れた場合は時間を短縮するか省略することもある。なお、シートノックに練習補助員（生徒に限る）の参加を5名まで認める。練習補助員は両耳つきヘルメットを着用し、ノックを受けないこと。ノック終了後はすぐに退場すること。
- (3) ノッカーが、監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。
- (4) ダッグアウトの中は、責任教師、監督、記録員（生徒に限る）各1名と登録選手18名以内の計21名以内とする。なお、記録員の服装は背番号のないユニフォームまたは制服、トレーニングウェアとする。
- (5) 打者、走者及びベースコーチは危険防止のため必ず両耳つきのヘルメットを着用すること。
- (6) 捕手は守備時必ずマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、急所カップを着用する。
- (7) 打席時の手袋着用及び、守備につく投手以外の野手の手袋着用を認める。
- (8) 金属バットの使用は日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で許可したのものに限る。商標表示は1色とし、表示の大きさは縦8センチ、横28センチ以内とする。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属バット以外のバットの使用は認めない。（ビヨンド、ハイコンバットなど）
- (9) コールドゲームは5回以降10点差、7回以降7点差とする。ただし、決勝戦には適用しない。また、降雨などによるコールドゲームは7回表終了以降に適用する。
- (10) 延長戦となった場合は13回よりタイブレーク制度を実施する。タイブレーク制度の詳細は高校野球特別規則に準ずる。ただし、決勝戦においては実施しない。
- (11) 決勝戦において延長戦は15回で打ち切り、引き分け両校優勝とする。
- (12) 選手は選手資格証明書で登録した通りの背番号をつけること。
- (13) アピールは主将、伝令または当該選手に限る。審判のジャッジには抗議できない。
- (14) メガホンの持ち込みは1つとし、使用は責任教師、監督に限る。ベンチ内の選手は使用できない。
- (15) メンバー表の提出・攻守の決定は、第1試合の場合は試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降の場合には試合開始予定時刻の1時間前に大会本部前で行う。所定の用紙にオーダーを記入の上、両校の責任教師は主将を同行して集合すること。なお、オーダー用紙は球場に到着次第速やかに提出すること。
- (16) 責任教師、監督、選手の登録変更は、開会式受付時まで認める。所定の用紙に記入の上、大会本部に提出すること。
- (17) その他の規定は、全国高等学校軟式野球選手権大会試合規則に準ずる。

22 応 援

- (1) 生徒応援団には必ず引率教師がつき、所定の席で応援すること。
- (2) プラスバンド以外の鳴り物は禁止する。笛及び太鼓の使用はリーダーのみ認める。試合前後と自チームの攻撃の時に演奏し、相手チームの攻撃の時は自粛する。
- (3) 横断幕等はスタンドの最上部に取り付けること。

23 そ の 他

試合中に起こった不慮の事故に対しては、応急手当をする以外、主催者は一切責任を負わない。
前回優勝校の上田西高等学校は優勝旗を返還してください。